

# 授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名)  保育の造形表現 I	授業の種類  ( 講義・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">演習</span> ・ 実習 )	授業担当者  溝口 敏美	当該科目に関する 実務経験
授業の回数  15 回	時間数 (単位数)  30 時間 (1 単位)	配当学年・時期  1 年・前期	必修・選択  必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児期の造形活動の基礎知識を身につけ、様々な表現技法を知り、実践しながら感性を養う。</li> </ul> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画、工作などの製作、造形表現についての講義</li> </ul> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標) ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料、用具の特性と造形の基礎知識を理解し授業と通して創意工夫できたか。</li> <li>・ 授業を通して造形活動の流れ、技法を理解し作品に生かすことができたか。</li> </ul>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、 平面 (画用紙・鉛筆、消しゴム・カッターナイフ・マスキングテープを用いて)             <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 白と黒の世界を鉛筆を使用しての線描画の作成 (黒鉛筆、白消しゴム)</li> </ul> </li> <li>2、 同上</li> <li>3、 平面 (画用紙・鉛筆・絵具を用いて)             <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 絵具を使用しての静物画の作成</li> </ul> </li> <li>4、 同上</li> <li style="padding-left: 20px;">同上</li> <li>5、 平面 (画用紙・絵具を用いて)             <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 抽象画</li> </ul> </li> <li>6、 平面 (画用紙・絵具・鉛筆を用いて)             <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 大きな絵をグループで作成する。キャラクターと場面構成を決める</li> </ul> </li> <li>7～1 1 同上</li> <li>1 2 切り絵 (色画用紙・糊・はさみを用いて)             <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 季節が分かる行事の表現</li> </ul> </li> <li>1 3 同上</li> <li>1 4 平面 (押す・こする・焼く・切り裂く)             <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 様々な技法を使用して表現する。</li> </ul> </li> <li>1 5 上記の経験を生かし、みんなで意見交換しながらの作品鑑賞会</li> </ol>			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>無し</p>			
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考查点 (75%)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 到達目標の修得状況を測るために、提出物の状況及び、作品等の評価により期末考查点とする。</li> </ul> </li> <li>・ 平常点 (25%)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。</li> <li>・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。</li> </ul> </li> </ul>			